

## 1 実施期間

- 下記期間を「**テレワーク・デイズ2020**」の実施期間と設定  
**2020年7月20日(月)～9月6日(日)**
- 都内企業は、TDM(※)期間と併せ、以下の期間を**集中実施期間**とする
  - ・オリンピック競技大会期間:**7月24日(金)～8月9日(日)**
  - ・パラリンピック競技大会期間:**8月25日(火)～9月6日(日)**

※TDM: Transportation Demand Management(交通需要マネジメント)

## 2 実施内容

- テレワーク・デイズ2019を踏まえ、早期準備を働きかけ
- テレワーク関係4省で業界団体ごとの働きかけを強化するほか、その他関係省庁とも連携し業界団体ごとの働きかけ
- 東京都・内閣官房オリパラ事務局と連携し、重点16エリア周辺企業への集中的テレワークの働きかけ
- 2019年の特別協力団体の事例紹介や、東京2020大会に向けた取組など先進事例の紹介
- 「テレワーク・デイズ2020」のキックオフの周知
- 多様な働き方の奨励・・・様々なテレワーク(モバイル、サテライトオフィス等)の実施、ふるさとテレワーク、ワーケーションも活用した地方サテライトオフィス、郊外サテライトオフィス活用への誘導
- 東京2020大会の交通混雑緩和(TDM)としては休暇取得、時差出勤及びフレックスタイムを併せて奨励

### 3 実施目標

- 全国で、**テレワーク・デイズ2019を上回る**約3,000団体以上の参加を目標とする。  
※テレワーク・デイズ2019参加数：2,887団体、約68万人
- **都内の企業等については従業員の1割のテレワーク等の実施**、都心の大企業等にはそれ以上の大規模実施を呼びかけるとともに、都外又は中小規模の団体若しくは官公庁などを含め、様々な業種・規模・地域の団体の参加を促す。  

(参考) TDMの目標	
【2020年大会時見通し】	鉄道：観客利用と道路からの転換により、 <b>利用者が約1割増加</b>
【TDMの目標】	鉄道： <b>現在と同程度のサービスレベル</b> を目指す
- 国家公務員によるテレワークも引き続き積極的に取り組んでいく。  
※テレワーク・デイズ2019参加人数：延べ35,138名 (26の本府省等)

### 4 効果測定等

- 参加団体は、これまでと同様、「**実施団体**」「**特別協力団体**」「**応援団体**」の3分類とする。
- 特別協力団体は、効果測定（交通混雑緩和、業務効率化等）のアンケートに協力可能な団体とする。
- 【交通混雑緩和の効果測定】モバイルビッグデータを活用し、東京都心への交通量削減効果を検証。あわせて、重点16エリアなど競技会場周辺エリアの減少量も検証。
- 【業務効率化等の効果測定】企業・団体の経営層から従業員まで幅広い層にテレワークの意義等を浸透させるため、生産性向上、ワークライフバランス満足度向上等のデータを収集し、広く周知する。

# 「テレワーク・デイズ2020」の実施期間(案)

**テレワーク・デイズ2020**  
7月20日(月)～9月6日(日)

**オリンピック競技大会**  
7月24日(金)～8月9日(日)

## 2020年カレンダー

都内企業集中実施期間①

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23 海の日	24 開会式 スポーツの日	25
26	27	28	29	30	31	8/1
2	3	4	5	6	7	8
9 閉会式	10 山の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 開会式	26	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4	5
6 閉会式	7	8	9	10	11	

**パラリンピック競技大会**  
8月25日(火)～9月6日(日)

都内企業集中実施期間②